

日被連、広島で講演会

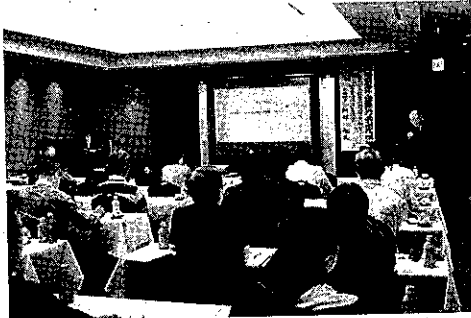
外国人技能実習 業界全体での改善を

日本被服工業組合連合会(日被連)は3日、広島県福山市内で「外国人技能実習の適正化と実習生の保護のために」繊維産業における取引適正化」をテーマに講演会を開き、繊維業界全体での

CM推進協議会)の阿部旭専務理事が解説した。同文書では、実習(団体管理型)での繊維・衣服関係での「不正行為」件数が2017年には94件(全体の51%)で他業種と比べて突出して多いと指摘している。

改善を訴えた。地元の三備産地を中心に約50人が聴講した。経済産業省が主導して設置した繊維産業技能実習事業協議会が今年6月にまとめた「繊維産業に

適正な取り組みについて」の文書を基に、国内の外国人技能実習生の受け入れの仕組みと理念、実情と課題、解決に向けた取り組みを繊維産業流通構造改革推進協議会(S



実習生の環境改善への取り組みが明示された

決に繊維業界全体で取り組み必要性を示した。日被連では、実習生に

適正な環境を整備するため、サプライチェーン全体での取引適正化に特に注力する方針を示す。S
CM推進協議会が策定している「取引ガイドライン」に縫製業に関わる項目を8月に追加して一体に呼び掛けた。
り、このガイドラインに準じた受発注体制を早期に確立することを業界全体に呼び掛けた。

繊維 ニュース

www.sen-i-news.co.jp